

第 18 回成育在宅医療懇話会



テーマ

「小児緩和ケア～看取りを見据えて生活を支えるために大切にしたいこと～」

日時:平成 30 年 5 月 19 日(土) 14:00～16:30 (受付開始 13:30)

場所:国立成育医療研究センター 病院 1 階 講堂

高度医療の発展により、多くの病が治癒出来るようになってきた一方で、残念ながら治癒が叶わず生命を脅かす疾患に罹患しながら生活をする子どもたちが増えてきています。緩和ケアは、がんだけでなく疾患を問わず診断時から看取り、そしてその後まで続く人生を全人的に支え、こどもの QOL の向上と家族のサポートを目指す取り組みです。今回の在宅医療懇話会では、緩和ケアの基本的な考え方をお伝えしたうえで、がんだけでなく疾患を問わず看取りを見据えて Life を支える支援の在り方について、皆さんで考える機会にしたいと思います。是非ともお集まりください。

I. 小児緩和ケアとは

総合診療部 緩和ケア科医長 余谷暢之

II. 看取りを見据えて生活を支えるために私たちにできること

1. 最期の時を在宅で～看取りを見据えた在宅支援の実践から考えること

看護部 専門看護室 緩和ケア認定看護師 木須彩

2. 看取りを見据えた支援～グループワーク～

総合診療部 緩和ケア科医長 余谷暢之

なお、この成育在宅医療懇話会は新制度における〔iii 小児科領域講習〕の申請を行っております。

<事務局>

医療連携室 TEL 03-3416-0181(代表)

満席の場合には事務局よりご連絡いたします。

参加の可否等のお問合せはご遠慮いただきますようお願い申し上げます。